

2006年度上期未踏ソフトウェア創造事業

「創作者の意図を最大限に活かす立体マンガエディタ/ビューワの開発」

ソフト名「立体デジマンエディタ/ビューワ」（命名：モンキー・パンチ氏）

開発者名：

中野洋一（ドリームガーデンソフトウェア）

加藤一彦（ペンネーム/モンキー・パンチ、漫画家）

大谷和利（フリーランスライター）

本ソフトは、モンキー・パンチ氏の創作の原点である「立体映画のダイナミックな演出」を採り入れた次世代のマンガ表現「立体マンガ」を実現することを目的として開発されたものである。

エディタパートでは、デジタルマンガの標準的な描画ツールPhotoshopのファイルを読み込み、レイヤー情報を視差情報として展開。シャープ3D液晶、アナグリフ(青赤メガネ)、ホロブレード(ツイストミラー式ステレオスコープ)の3種の出力方式で表示し、さらに静止画に映画的演出を付加して、ゲームブック的なストーリー分岐にも対応するオーサリング機能を装備した。またビューワパートでは、オーサリング結果をビジュアルイフェクトや効果音と共に閲覧可能となっている。

